

2021(令和3)年度授業アンケート報告書

研究教育開発センター

I 授業アンケートについて

1 授業アンケートの目的

- (1) 学生が各授業をどのように見ているかという観点からの情報収集と教員個々の気づきを目的とし、それらを各授業の質の向上につなげること。
- (2) 学生の授業参加への意識を高めること。
- (3) 講義室の施設・設備の改善等。

2 授業アンケートの実施概要

(1) 授業アンケートの対象科目

2021(令和3)年度に開講している全授業科目(演習及び実習を除く)を対象に実施。

(2) 授業アンケートの実施時期

①前期: 2021(令和3)年7月5日(月)～8月10日(火)

※予定は7月30日(金)までの期間であったが、回答状況が芳しくなかったため、上記の日程まで延長した。

②後期: 2022(令和4)年1月24日(月)～2月19日(土)

(3) 授業アンケートの実施方法

パソコン・スマートフォン等による学生ポータル(LiveCampus)での回答。

(4) アンケート回答状況

①前期

回答率: 32.6%(回答数7,061/対象数21,667)

②後期

回答率: 16.8%(回答数3,552/対象数21,959)

(5) 授業アンケートの質問項目

授業内容に関する質問は以下の7項目となっている。

- ①授業全体の目標は明確でしたか。【目標の明確さ】
- ②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか。【教員の意欲】
- ③この授業では、教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。【準備の周到さ】
- ④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか。【明瞭な話し方】
- ⑤この授業は、学習しやすい環境が保たれていましたか。【環境の整備】
- ⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか。【学習意欲の喚起】
- ⑦この授業を受講して満足しましたか。【総合満足度】

Ⅱ 授業アンケート結果の分析・総括について

1 前期授業アンケートの選択式（5段階評価）結果及び分析

※授業内容に関する大学・学部・学科の具体的な集計値はP 4・5に掲載。

（1）全体的傾向（大学全体の平均値）

①2021（令和3）年度前期の授業は、新型コロナウイルスの感染防止・予防のために講義期間中の約17.6%をオンライン授業で実施し、その割合はLiveCampus等による課題研究型が73.2%、Zoom等を使った授業が26.8%となっている。全体的な学生の評価は2020（令和2）年度前期に比べ、大きな変化はない。

②大学全体では、授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】の平均は4.47であり、学生は授業におおむね満足している。2020（令和2）年度前期の⑦【総合満足度】平均4.48と比較しても横ばいとなっており、満足度に大きな変化はない。その他の質問の回答の平均も4.35以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。

③教員の意欲や準備について問う②【教員の意欲】や③【準備の周到さ】の平均は4.62以上で、他の質問に比べ高い評価を得ている。特に、③【準備の周到さ】の平均は4.67となっており、最も高い評価となっている。

④学びに対する意欲をかきたてられたかを問う⑥【学習意欲の喚起】の平均が4.35で、最も低い評価となっている。これは2020（令和2）年度前期と同様の傾向となっている。

（2）学部・学科別傾向

①経済学部（経済学科・経営学科）

ア 両学科とも、すべての質問において平均が4.15以上であり、おおむね良好な評価となっている。とはいえ、全ての質問において学生の評価は大学全体の平均を下回っている。

イ ⑦【総合満足度】は、両学科とも4.26以上であり、学生は授業に対しておおむね満足しているといえる。

ウ 経済学科は全ての質問において、大学全体の平均よりも0.2ポイント程度低い評価となっており、特に⑥【学習意欲の喚起】の平均4.15は全学科で最も低い評価となっている。

エ 経営学科は2020（令和2）年度前期と比べて、全ての質問で評価が上がっている。

②福祉社会学部（社会福祉学科・児童学科）

ア 両学科とも、全ての質問において平均が 4.44 以上であり、非常に良好な評価となっている。全ての質問において大学全体の平均を上回り、学生の評価は相対的に高くなっている。

イ ⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.55 以上であり、学生は授業に対して非常に満足しているといえる。特に児童学科の 4.56 は全学科で最も高い評価となっている。

ウ 2020（令和 2）年度前期と比べて、児童学科の平均は全体的に低下傾向にある。特に⑦【総合満足度】が下がっている。

③国際文化学部（国際文化学科・音楽学科）

ア 両学科とも、すべての質問において平均が 4.39 以上であり、おおむね良好な評価となっている。

イ ⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.42 以上であり、学生は授業に対しておおむね満足しているといえる。

ウ 特に国際文化学科は、②【教員の意欲】と④【明瞭な話し方】が大学全体より 0.7 ポイント以上の高い評価となっている。

授業内容に関する大学・学部・学科別の平均値

アンケート質問Ⅲの質問①～⑦について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別に表にまとめた。ここでは、前期と後期を比較しているが、それぞれにおいて全く同じ科目が開講されているわけではないことに留意されたい。

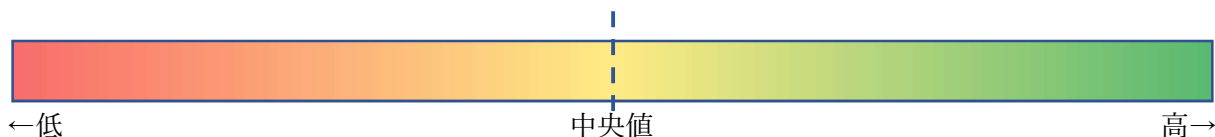
5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

質問①～⑦は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【教員の意欲】 ③【準備の周到さ】 ④【明瞭な話し方】
⑤【環境の整備】 ⑥【学習意欲の喚起】 ⑦【総合満足度】

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のカラースケールを用いて着色した。



着色の範囲は、①大学全体、②全学科の2領域としている。

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	①	②					
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか							
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか							
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか							
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか							
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか							
⑦この授業を受講して満足しましたか							

2021（令和3）年度前期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.52	4.34	4.43	4.58	4.62	4.54	4.52
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.62	4.40	4.57	4.69	4.70	4.69	4.59
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.67	4.49	4.65	4.72	4.74	4.73	4.69
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	4.46	4.24	4.37	4.54	4.55	4.54	4.50
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.55	4.34	4.47	4.62	4.63	4.61	4.57
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.35	4.15	4.25	4.44	4.44	4.39	4.34
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.47	4.26	4.40	4.55	4.56	4.52	4.42

2020（令和2）年度前期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.54	4.35	4.40	4.59	4.69	4.49	4.65
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.63	4.40	4.47	4.71	4.75	4.66	4.76
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.67	4.46	4.57	4.72	4.78	4.69	4.81
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	4.44	4.24	4.25	4.55	4.59	4.41	4.60
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.54	4.33	4.39	4.61	4.70	4.50	4.62
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.37	4.20	4.18	4.43	4.56	4.28	4.49
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.48	4.30	4.30	4.56	4.66	4.41	4.53

2 後期授業アンケートの選択式（5段階評価）結果及び分析

※授業内容に関する大学・学部・学科の具体的な集計値はP 8・9に掲載。

（1）全体的傾向（大学全体の平均値）

①2021（令和3）年度後期の授業は、新型コロナウイルスの感染防止・予防のために講義期間中の約18.7%をオンライン授業で実施し、その割合はLiveCampus等による課題研究型が75.7%、Zoom等を使った授業が24.3%となっている。全体的な学生の評価は2020（令和2）年度後期に比べ、大きな変化はない。

②大学全体では、授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】の平均は4.57であり、学生は授業におおむね満足している。2020（令和2）年度後期の⑦【総合満足度】平均4.51と比較して0.06ポイント高くなっている。その他の質問の回答の平均も4.43以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。

③教員の準備について問う③【準備の周到さ】は、平均4.70で全ての項目の中で最も高い評価となっている。2020（令和2）年度後期も同様の結果となっている。

④2020（令和2）年度後期と比べて、全ての項目で評価が高くなっている。特に⑤【環境の整備】と⑦【総合満足度】は最も上がり幅が大きく（0.06ポイント）なっている。

（2）学部・学科別傾向

①経済学部（経済学科・経営学科）

ア 両学科とも、全ての質問において平均が4.29以上であり、おおむね良好な評価を得ている。とはいえ、経済学科の④【明瞭な話し方】を除き、学生の評価は大学全体の平均を下回っている。

イ 経済学科は、全ての質問において2020（令和2）年度後期よりも高い評価となっている。

ウ 大学全体と比べて、経営学科の⑤【環境の整備】、⑥【学習意欲の喚起】、⑦【総合満足度】が0.14～0.16ポイント程度評価が低くなっている。また、⑥【学習意欲の喚起】は平均4.29であり全学科で最も低い評価となっている。

②福祉社会学部（社会福祉学科・児童学科）

ア 社会福祉学科の⑥【学習意欲の喚起】を除き、両学科とも、すべての質問において平均が 4.32 以上であり、2020（令和 2）年度後期と同様に、良好な評価を得ている。

イ 大学全体との比較では、児童学科は全ての質問において平均を上回っている。一方で社会福祉学科は④【明瞭な話し方】を除いて、大学全体の平均を下回っている。

ウ 授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.51 以上であり、2020（令和 2）年度後期と同様に学生は授業に対して満足しているといえる。特に児童学科の平均 4.64 は、全体で最も高い評価となっている。

エ 2020（令和 2）年度後期と比べて、社会福祉学科は全ての質問で評価が低くなっている。

③国際文化学部（国際文化学科・音楽学科）

ア 両学科とも、全ての質問において平均が 4.45 以上であり、良好な評価を得ている。

イ 授業を総合的に評価する⑦【総合満足度】は、両学科とも 4.55 以上であり、学生は授業に対して非常に満足しているといえる。

ウ 2020（令和 2）年度後期と比べて、国際文化学科は全ての質問で評価が高くなっている。一方で音楽学科は⑥【学習意欲の喚起】を除き、全ての質問で評価が低くなっている。

授業内容に関する大学・学部・学科別の平均値

アンケート質問Ⅲの質問①～⑦について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別に表にまとめた。ここでは、前期と後期を比較しているが、それぞれにおいて全く同じ科目が開講されているわけではないことに留意されたい。

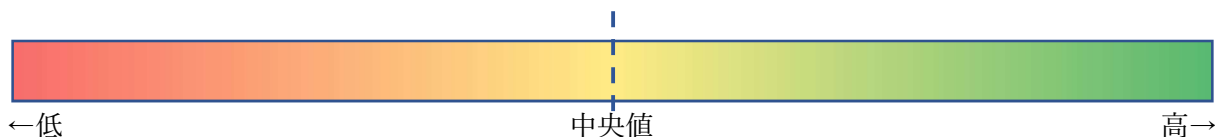
5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

質問①～⑦は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【教員の意欲】 ③【準備の周到さ】 ④【明瞭な話し方】
⑤【環境の整備】 ⑥【学習意欲の喚起】 ⑦【総合満足度】

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のカラースケールを用いて着色した。



着色の範囲は、①大学全体、②全学科の2領域としている。

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	①	②					
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか							
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか							
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか							
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか							
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか							
⑦この授業を受講して満足しましたか							

2021（令和3）年度後期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.60	4.51	4.55	4.54	4.68	4.52	4.57
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.68	4.67	4.62	4.66	4.71	4.66	4.69
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.70	4.64	4.61	4.65	4.76	4.74	4.60
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思えましたか	4.53	4.55	4.44	4.54	4.54	4.51	4.60
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.63	4.56	4.47	4.58	4.72	4.60	4.60
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.43	4.38	4.29	4.32	4.51	4.45	4.57
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.57	4.54	4.41	4.51	4.64	4.55	4.60

2020（令和2）年度後期授業アンケートの5段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.55	4.37	4.48	4.65	4.66	4.42	4.68
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.64	4.42	4.61	4.70	4.71	4.62	4.81
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.67	4.52	4.61	4.73	4.73	4.64	4.83
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思えましたか	4.50	4.31	4.46	4.65	4.58	4.37	4.67
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.57	4.41	4.51	4.67	4.66	4.48	4.73
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.39	4.18	4.32	4.54	4.52	4.21	4.57
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.51	4.30	4.46	4.63	4.62	4.37	4.66

3 前期・後期授業アンケートにおける自由記述の結果及び総括

(1) 「良い点」(全体的傾向)

①授業準備・開始段階での配慮

事前の授業準備(予習課題等)の具体的な指示/アイスブレイクなどの雰囲気づくり
将来(就職)を見据えた授業の意義説明/授業の始まりに行う簡潔な復習

②教材等に関する配慮

見やすく分かりやすい資料/書き込み式で分かりやすいプリント/豊富な資料/分かりやすいパワーポイント資料/興味深い動画の活用/ノートに記録する時間の確保

③授業内容・形態に関する配慮

イメージが湧きやすい身近な話題の提供/グループワークによるディスカッション/プレゼンテーションの機会/外部講師による講義/講義終盤に課す確認問題/実践的な模擬授業/グループワークでのコミュニケーション力の育成や積極的な授業参加

④学生との接し方、話し方に関する配慮

質問しやすい環境づくり/意見・質問へのコメント返却/スマートフォン使用への適切な対処/親しみやすい口調/個別の丁寧な指導

⑤その他

役に立つレポートの書き方指導/毎回の課題や小テスト/細かな成績評価

(2) 「改善を要する点」

①授業計画の不明瞭さ、授業準備の不足

シラバスからの逸脱/資料のない授業/1回分の授業には詰め込みすぎの内容/出所不明のデータ(資料)の使用/適切な指示のない事前学習/目的が不明確な授業

②話の聞き取りづらさ

速すぎる話すスピード/小さい話し声/悪い滑舌/マイクの不使用

③板書、スライド等の見づらさ

小さい、汚い板書の文字/文字の小さい配資料/パワーポイント資料の未配付/画面切り替えが早いパワーポイントでの説明/読みにくいパワーポイントの文字

④授業内容の分かりづらさ

分かりにくい説明/学生の理解を確認せずに進行する授業/学生のレベルに合わせていない授業/板書をノートに記録させるだけの授業

⑤学生への対応について

私語に対する注意/出席確認の厳格化の要望/広い教室での学生の座らせ方(前方から詰めて)/日本語での授業を理解できていない留学生への対応

⑥教員の態度について

授業の遅刻/感情的な発言/授業と関係ない話の多さ/性別や人によって異なる対応

⑦その他

しっかりとした出欠確認/グループワークに参加できない留学生の対応/多すぎる課題/時間に終わらない授業の対応

(3) 自由記述の総括

2021（令和3）年度授業アンケートの自由記述において「この授業で良いと思った点」の代表的な意見は以下のとおりだった。

- ①説明が分かりやすく、内容が理解しやすかった。
- ②先生が用意してくれる資料が分かりやすかった。
- ③資料がしっかり用意されていた。
- ④確認テストがあり、復習できる環境が整っていた。

同じくアンケートの自由記述において「この授業で改善してほしいと思った点」の代表的な意見は以下のとおりだった。

- ①レポートの内容が難しかったので、もう少し分かりやすい内容にしてほしい。
- ②専門用語が多かったので、もう少し分かりやすく説明してほしい。
- ③板書が少し読みづらい時があった。
- ④しっかりマイクを使って授業を進めてほしい。
- ⑤教科書のどこの箇所をやっているのか分かりづらかった。
- ⑥オンライン授業よりも対面での授業形式にしてほしい。

上記の代表的な意見において、やはりポイントは改善してほしい点の「⑥オンライン授業よりも対面での授業形式にしてほしい」であろう。コロナ禍で2020（令和2）年度からオンライン授業が実施されるようになり、2021（令和3）年度は2年目にあたり、1年目よりも教員のオンライン授業のスキルも向上し、受講する学生も1年目ほどの混乱はなかったと考えられる。

実際に2020（令和2）年度では、レポート課題の内容や形式、各種オンライン授業のあり方に関する改善要求が多くあり、またオンライン授業への不満から授業料の返還を求める要望もあったが、2021（令和3）年度は目立って多くの意見はなかった。

しかし、そうであっても、対面での授業を求める声は根強くあることが伺える。

実際に研究教育開発センターにも対面での授業の実施とそれが難しい場合でも対面に近いオンライン授業の実施を求める学生から直接要望があった。

このような要望に対して、2020（令和2）年度の前・後期の報告でもあった教員のオンライン授業等のICTに関するスキルアップや学生への課題研究型の授業の必要性の説明といった教員個人の裁量や判断による対応が引き続き必要であろう。それに加えて、オンライン授業を実施する場合には、オンラインに適した科目やその際の適切なオンラインの方式などについて、大学として基本的な指針を示すことも求められるのではないかと考えられる。

以 上